

愛知県にお住まいの妊婦の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症対策で大切なこと



Q 感染したらどんな影響がありますか？

A 妊娠中でも過度な心配はありません。

- 現時点では新型コロナウイルスの感染により、胎児の異常や死産、流産のリスクが特に、特に高くなるという報告はありません。
- しかし、妊娠後期に新型コロナウイルスに感染すると、早産率が高まり、患者本人も一部は重症化することが報告されています。

Q ワクチンを接種するかどうか迷っています。

A 妊婦さんは時期を問わずワクチン接種が推奨されています。

- 副反応の有無に関わらず、流産、早産等の頻度はワクチンを打たなかった妊婦と同じであると報告されています。
- 日本で承認されているワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。
- 妊婦さんが感染する場合の約8割は、夫やパートナーからの感染です。そのため、妊婦さんだけでなく夫またはパートナーの方も、ワクチンを接種することをお願いします。
- 妊婦さん（夫またはパートナーを含む）がワクチン接種を希望する場合は、県の大規模接種会場において、予約の有無に関わらず、ワクチン接種を受けられる機会を提供しています。接種にあたっては、あらかじめ妊婦健診先の医師に接種について相談してください。

愛知県「妊婦の方に対する新型コロナワクチン接種について」

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/wakuchin-seshu-ninpu.html>



～ご家族や周りの方たちも協力して、予防しましょう！～

新型コロナウイルスに関する一般的な情報や、詳しい情報は、厚生労働省や関係学会のホームページをご覧ください。

厚生労働省

「新型コロナウイルスに関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

一般社団法人 日本産婦人科感染症学会

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について 妊娠中ならびに妊娠を希望される方へ（随時更新）」

<http://jsidog.kenkyuukai.jp/information/>



ワクチン接種で大切なこと

妊婦さんが接種を希望される場合は、以下のことに注意しましょう。

- 新型コロナワクチン接種の予診票には、「現在妊娠している可能性はありますか。または授乳中ですか。」という質問がありますので、「はい」にチェックし、あらかじめ妊婦健診先の医師に接種の相談をしておきましょう。接種してよいと言われていれば、その旨を接種会場の間診医に伝えて、接種を受けてください。

日頃の感染予防で大切なこと

妊婦さんだけでなく、同居するご家族や周りの方も一緒に感染予防をすることが大切です。以下のことに注意しましょう。

- **予定された2回のワクチンを接種しても、これまでと同様に以下の感染予防策を続けてください。**
 - ・ 適切にマスクを使用してください。
 - ・ 外出は、出来るだけ控えてください。
 - ・ こまめに手洗いをしてください。
 - ・ 人混みを避けてください。
 - ・ ①密閉空間 ②密集場所 ③密接場面の3つの「密」を避けてください。
- 喫煙は新型コロナウイルス感染症のリスクとなります。妊婦さん、ご家族も含めて禁煙を心がけてください。
- 十分な睡眠とバランスの良い食事で栄養を取り、体調を整えるように留意しましょう。

分娩について

愛知県では、妊婦さんが罹患した場合の安心・安全な分娩のための入院体制を整えています。

新型コロナウイルス陽性と診断された場合、診断医に妊娠中であると申し出てください。

また、診断医がかかりつけ産科医とは異なる場合、かかりつけ産科医にも電話でご連絡ください。